



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 日本化薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4272 URL <http://www.nipponkayaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 政信

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ経理本部経理部長 (氏名) 武内 直彦

TEL 03-6731-5842

四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	38,986	△2.2	4,938	△13.2	3,494	△42.6	2,400	△49.0
28年3月期第1四半期	39,846	1.2	5,687	△3.8	6,083	0.8	4,710	23.6

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △1,324百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 7,669百万円 (95.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	13.82	13.82
28年3月期第1四半期	26.00	25.99

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	265,402		193,314			68.6
28年3月期	272,679		200,492			69.3

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 182,093百万円 28年3月期 188,919百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	12.50	—	17.50	30.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	80,300	0.1	7,500	△32.8	8,000	△21.1	5,500	△17.0	31.67
通期	168,500	3.4	18,000	△17.1	18,500	△12.0	12,500	△27.7	71.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	182,503,570 株	28年3月期	182,503,570 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	9,333,059 株	28年3月期	6,857,074 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	173,666,493 株	28年3月期1Q	181,190,860 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)の世界経済は、米国や欧州では緩やかな回復が続いており、中国では成長のペースが緩やかに減速しました。日本経済は緩やかな回復基調にあるものの、世界経済の減速懸念や円高の進行等の影響により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは本年度よりスタートさせました新中期事業計画“*Take a New Step 2016*”の重点テーマと中長期重点課題に取り組み、研究開発の強化、重点事業への経営資源の最適配分、海外事業の拡大に加え、収益体質の強化を目指し、一層のコストダウンを推進しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、セイフティシステムズ事業が前年同四半期を上回りましたが、機能化学品事業、医薬事業が前年同四半期を下回ったことにより、389億8千6百万円と前年同四半期に比べ8億5千9百万円(2.2%)減少しました。

営業利益は、売上高の減少により、49億3千8百万円と前年同四半期に比べ7億4千8百万円(13.2%)減少しました。

経常利益は、為替差損の増加などにより34億9千4百万円となり、前年同四半期に比べ25億8千8百万円(42.6%)減少しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、24億円と前年同四半期に比べ23億9百万円(49.0%)減少しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

**【機能化学品事業】**

売上高は161億7千6百万円と前年同四半期に比べ17億4千9百万円(9.8%)減少しました。

機能性材料事業は、半導体封止材用エポキシ樹脂が好調で、機能性材料事業全体で前年同四半期を上回りました。

色素材料事業は、感熱顔色剤が前年同四半期を上回りましたが、インクジェットプリンタ用色素、繊維用染料および紙用染料が前年同四半期を下回りました。色素材料事業全体では前年同四半期を下回りました。

触媒事業は、アクリル酸製造用触媒およびメタクリル酸製造用触媒の出荷が堅調で前年同四半期を上回りました。

ポラテクノグループは、染料系偏光板や無機偏光板ProFluxの販売が低調で前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は14億5千9百万円と前年同四半期に比べ6億2千9百万円(30.1%)減少しました。

**【医薬事業】**

売上高は119億1千7百万円と前年同四半期に比べ2億5千5百万円(2.1%)減少しました。

国内向け製剤は、バイオ後続品の「インフリキシマブBS点滴静注用」(抗体薬)、「フィルグラスチムBS注」(がん化学療法支持療法薬)が伸長しました。一方、「パクリタキセル注NK」、「カルボプラチン点滴静注液NK」などの注射剤抗がん薬や「ピカルタミド錠NK」、「アナストロゾール錠NK」などの経口抗がん薬は薬価改定などの影響を受け、前年同四半期を下回りました。国内向け製剤全体では、「オキサリプラチン点滴静注液」(抗がん薬)および「ドセタキセル点滴静注」(抗がん薬)などの新製品が寄与しましたが、前年同四半期を下回りました。

輸出は、エトポシド類、ブレオ類(いずれも抗がん薬)が前年同四半期を下回りましたが、全体では前年同四半期を上回りました。

国内向け原薬は、医薬品原料、醗酵品原料が前年同四半期を上回り、全体では前年同四半期を上回りました。

診断薬は、糖尿病診断薬が前年同四半期を下回り、全体では前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は13億4千2百万円と前年同四半期に比べ6億5千2百万円(32.7%)減少しました。

### 【セイフティシステムズ事業】

売上高は90億3千7百万円と前年同四半期に比べ5億3千5百万円(6.3%)増加しました。

国内事業は堅調に推移し、エアバッグ用インフレーターは前年同四半期を上回りましたが、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーターはASEAN市場向けを2015年度から稼働を開始した海外グループ会社に生産を移管したため、前年同四半期を下回りました。

海外事業は北米・欧州・中国市場が堅調だったことに加え、新興国での自動車安全部品への需要拡大などによりエアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーター及びスクイブはそれぞれ前年同四半期を上回りました。

セグメント利益は17億3千2百万円と前年同四半期に比べ1億2千7百万円(7.9%)増加しました。

### 【その他】

売上高は18億5千5百万円と前年同四半期に比べ6億9百万円(48.9%)増加しました。

アグロ事業は、国内、輸出ともに前年同四半期を上回りました。

不動産事業他は、前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は4億1千1百万円と前年同四半期に比べ3億4千2百万円(495.3%)増加しました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産、負債及び純資産の状況

総資産は2,654億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ72億7千6百万円減少しました。主な減少は受取手形及び売掛金39億4千4百万円、有形固定資産28億1千6百万円、有価証券21億4千万円であり、主な増加はその他投資8億2千9百万円(投資その他の資産に含む)、投資有価証券7億7千9百万円であります。

負債は720億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ9千8百万円減少しました。主な減少は未払法人税等23億2千万円、未払金12億2千万円、長期借入金11億1千9百万円であり、主な増加は短期借入金35億4千9百万円、支払手形及び買掛金14億3千4百万円であります。

純資産は1,933億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ71億7千8百万円減少しました。主な減少は為替換算調整勘定41億1千6百万円、配当金の支払30億7千3百万円、自己株式の取得26億7千9百万円であり、主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益24億円、その他有価証券評価差額金5億3千万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、世界経済は米国では引き続き堅調に推移する一方、欧州では地政学的リスクの高まりにより景気の下振れが懸念されます。日本経済は雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかに回復することが期待されるものの、世界経済の下振れの影響に留意する必要があります。

このような状況において、当社グループは事業環境の変化に対応できる強固な財務体質を構築するとともに、グローバルな成長市場で既存ビジネスの拡大と新事業・新製品の展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、平成29年3月期第2四半期(累計)及び通期の業績予想につきましては、平成28年5月11日に公表いたしました予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,128	37,625
受取手形及び売掛金	50,529	46,584
電子記録債権	841	960
有価証券	10,639	8,499
商品及び製品	24,404	24,696
仕掛品	1,893	2,015
原材料及び貯蔵品	17,797	18,047
その他	7,961	6,510
貸倒引当金	△25	△22
流動資産合計	151,170	144,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,173	37,827
機械装置及び運搬具(純額)	22,169	21,213
その他(純額)	19,696	19,183
有形固定資産合計	81,040	78,223
無形固定資産		
のれん	113	491
その他	2,051	1,893
無形固定資産合計	2,164	2,384
投資その他の資産		
投資有価証券	35,093	35,873
退職給付に係る資産	1,254	1,246
その他	1,852	2,681
貸倒引当金	△33	△38
投資その他の資産合計	38,166	39,763
固定資産合計	121,372	120,371
繰延資産	136	113
資産合計	272,679	265,402

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,285	13,720
短期借入金	6,981	10,530
未払金	10,205	8,984
未払法人税等	2,687	367
その他	7,580	7,584
流動負債合計	39,740	41,187
固定負債		
長期借入金	12,460	11,340
環境対策引当金	3,599	3,599
退職給付に係る負債	518	507
その他	15,869	15,453
固定負債合計	32,446	30,900
負債合計	72,186	72,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,534	17,543
利益剰余金	152,219	151,545
自己株式	△7,773	△10,453
株主資本合計	176,913	173,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,647	13,178
為替換算調整勘定	1,644	△2,471
退職給付に係る調整累計額	△2,286	△2,181
その他の包括利益累計額合計	12,005	8,524
非支配株主持分	11,573	11,221
純資産合計	200,492	193,314
負債純資産合計	272,679	265,402

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	39,846	38,986
売上原価	22,908	23,238
売上総利益	16,937	15,748
販売費及び一般管理費	11,249	10,809
営業利益	5,687	4,938
営業外収益		
受取利息	13	23
受取配当金	271	320
有価証券売却益	—	2
負ののれん償却額	0	—
持分法による投資利益	68	134
その他	185	145
営業外収益合計	538	625
営業外費用		
支払利息	33	37
為替差損	7	1,872
その他	102	160
営業外費用合計	143	2,070
経常利益	6,083	3,494
特別利益		
固定資産売却益	1,010	0
関係会社株式売却益	51	—
特別利益合計	1,062	0
特別損失		
固定資産処分損	127	128
特別損失合計	127	128
税金等調整前四半期純利益	7,017	3,365
法人税、住民税及び事業税	1,587	635
法人税等調整額	374	161
法人税等合計	1,961	796
四半期純利益	5,056	2,569
非支配株主に帰属する四半期純利益	345	168
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,710	2,400

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	5,056	2,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,324	530
為替換算調整勘定	1,310	△4,532
退職給付に係る調整額	△24	107
持分法適用会社に対する持分相当額	2	0
その他の包括利益合計	2,613	△3,894
四半期包括利益	7,669	△1,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,216	△1,080
非支配株主に係る四半期包括利益	452	△244

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学品 事業	医薬事業	セイフティ システムズ 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,925	12,172	8,501	38,599	1,246	39,846	—	39,846
セグメント間の内部売上 高又は振替高	47	0	—	47	33	81	△81	—
計	17,973	12,172	8,501	38,647	1,280	39,927	△81	39,846
セグメント利益	2,089	1,995	1,605	5,690	69	5,759	△72	5,687

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△72百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△78百万円、セグメント間取引消去5百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学品 事業	医薬事業	セイフティ システムズ 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,176	11,917	9,037	37,131	1,855	38,986	—	38,986
セグメント間の内部売上 高又は振替高	46	—	0	46	28	75	△75	—
計	16,222	11,917	9,037	37,177	1,884	39,062	△75	38,986
セグメント利益	1,459	1,342	1,732	4,535	411	4,947	△8	4,938

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△8百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△15百万円、セグメント間取引消去7百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。